

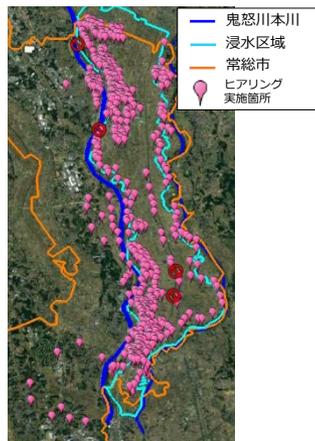
常総水害(H27関東・東北豪雨災害)に関する住民調査

平成29年2月13日

洪水・高潮からの大規模・広域避難検討WG

調査の概要

中央大学工学部河川・水文研究室による調査



調査期間	2015年11月21日～11月23日
調査対象	常総市内の浸水区域または避難指示等が発令された地区の住民
調査方法	対面式でのヒアリング調査
調査有効数	516人

NHK放送文化研究所 メディア研究部による調査

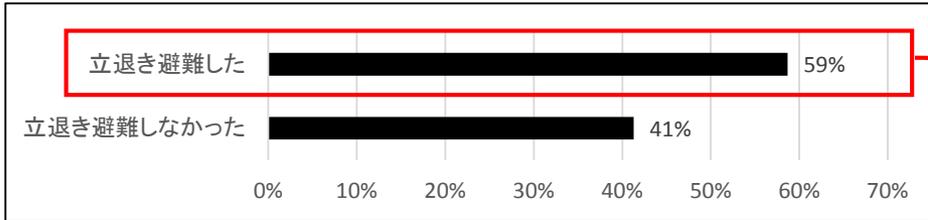
調査期間	2015年12月5日～12月20日
調査対象	2015年9月10日に発生した水害の際に、常総市において鬼怒川左岸の避難指示・勧告区域内に居住していた満20歳以上の男女個人1,000人を住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	訪問面接法 (対象者名簿に記載されている対象者本人に、調査員が「調査票」の質問文を読み上げ、その場で回答カードから回答を選んでもらう。)
調査有効数(率)	686人(68.6%)

立退き避難した人の割合と避難先

中央大学工学部河川・水文研究室による調査

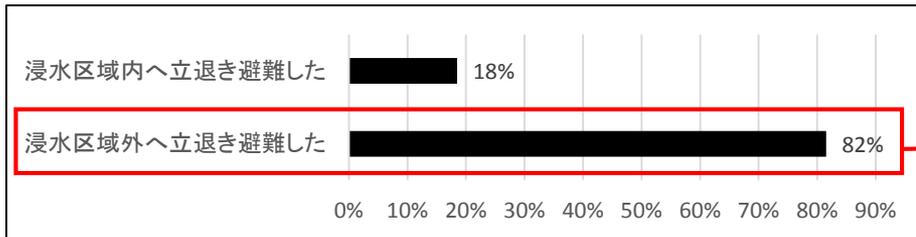
立退き避難をした住民

□ 立退き避難した住民は約6割



立退き避難をした人のうち、浸水区域外に避難した住民

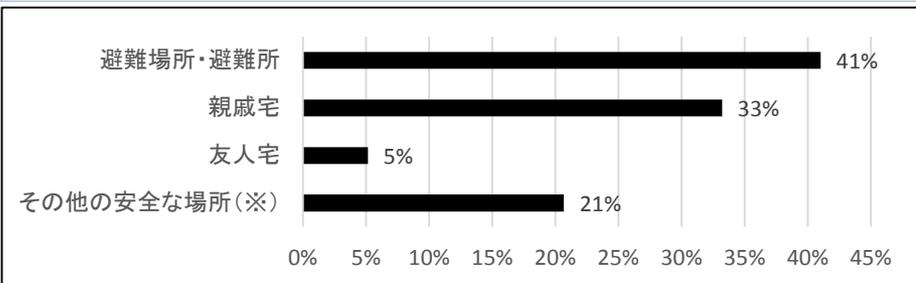
□ 立退き避難した住民のうち、浸水区域外へ避難した人が約6割



立退き避難をした人の避難先

N=233
(立退き避難をした人のうち、「不明」と回答した62票と未回答の8票を除く)

□ 立退き避難した住民のうち、避難先としては、指定緊急避難場所・指定避難所に避難した人、親戚宅・友人宅に避難した人がそれぞれ約4割



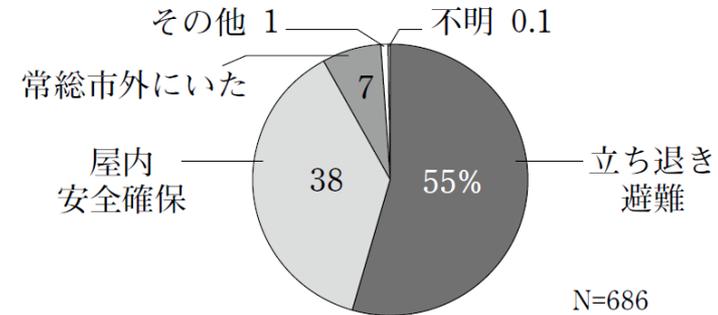
N=295
(立退き避難をした人のうち、「不明」と回答した8票を除く)

域外へ立退き避難した人は全体の48% (59% × 82%)

NHK放送文化研究所メディア研究部による調査

立退き避難をした住民

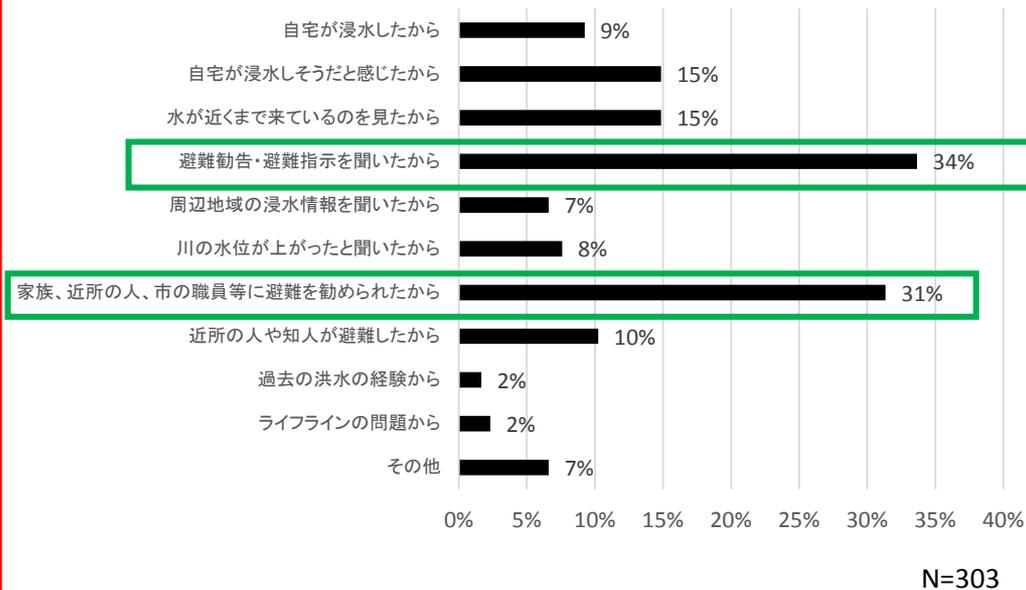
□ 立退き避難した住民は約6割



立退き避難の動機

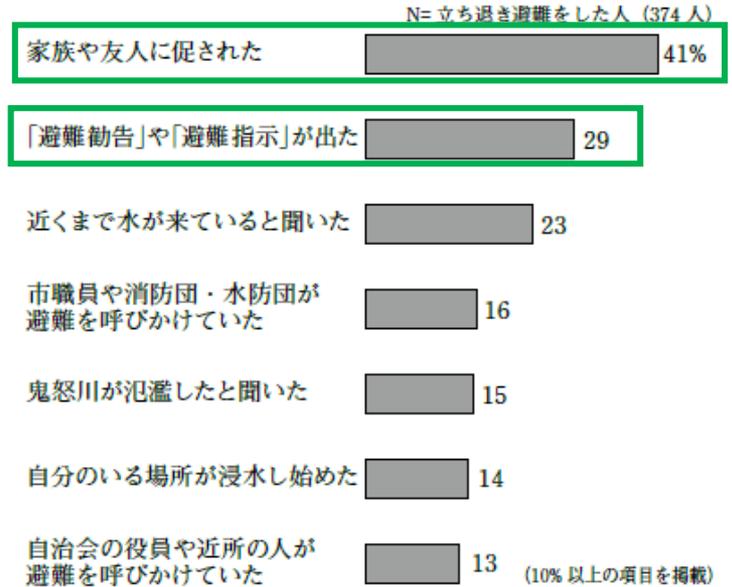
中央大学理工学部河川・水文研究室による調査(複数回答)

- 立退き避難の動機として、**避難勧告等を聞いた**と回答した人の割合が**約3割**
- **家族、近所の人、市の職員等に避難を進められたから**と回答した人の割合が**約3割**



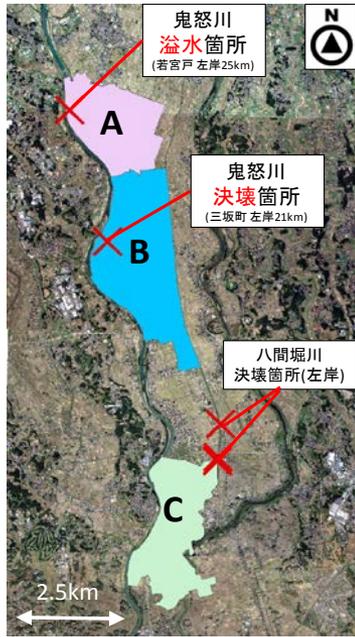
NHK放送文化研究所メディア研究部による調査(複数回答)

- 立退き避難の動機として、**避難勧告等が出た**と回答した人の割合が**約3割**
- **家族や友人に促された**と回答した人に割合が**約4割**

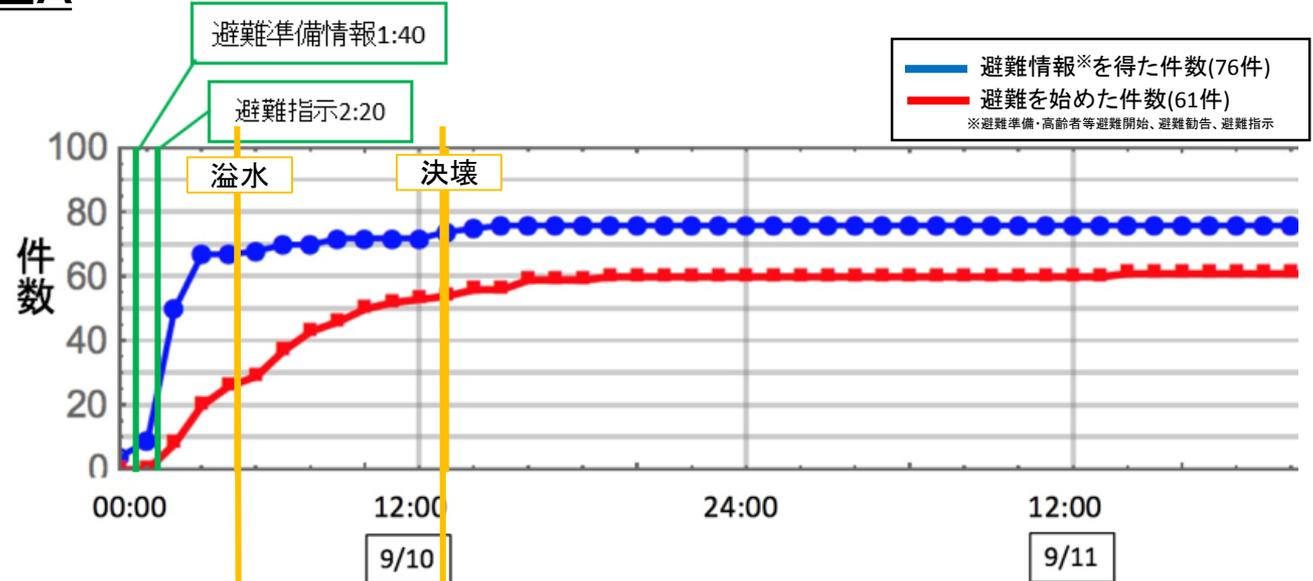


立退き避難を始めたタイミング①

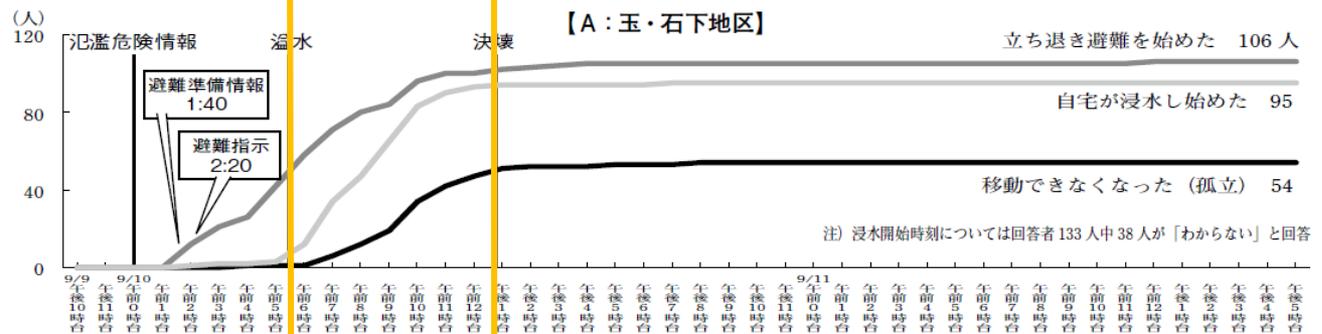
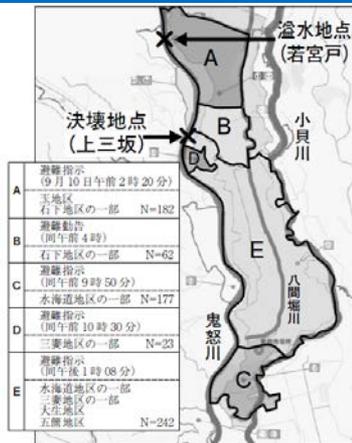
中央大学理工学部河川・水文研究室による調査



地区A

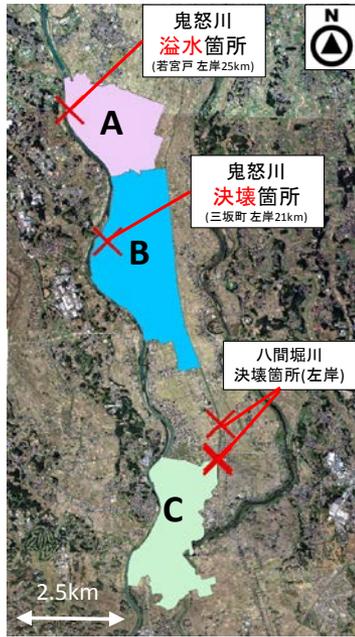


NHK放送文化研究所メディア研究部による調査

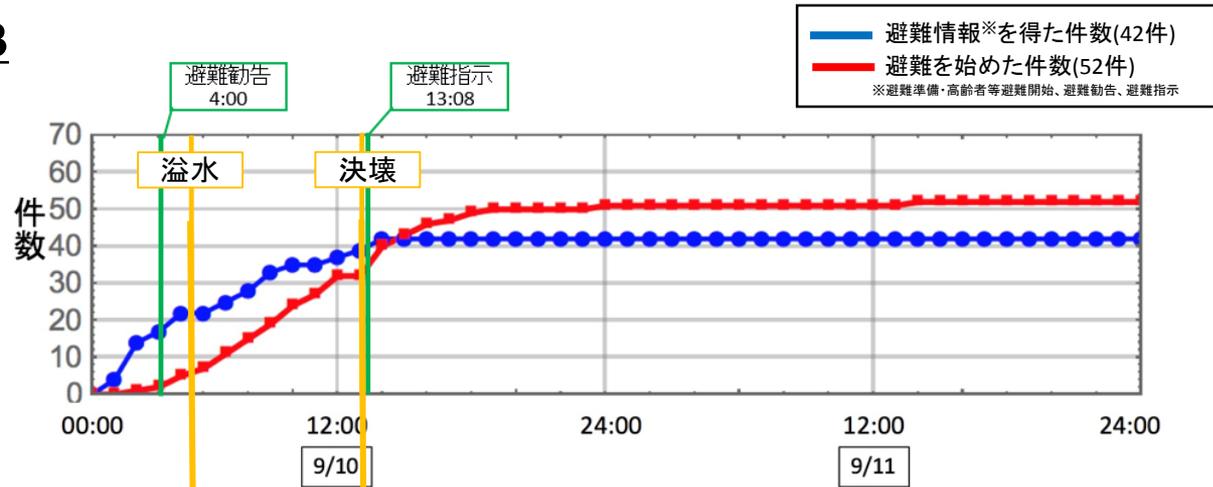


立退き避難を始めたタイミング②

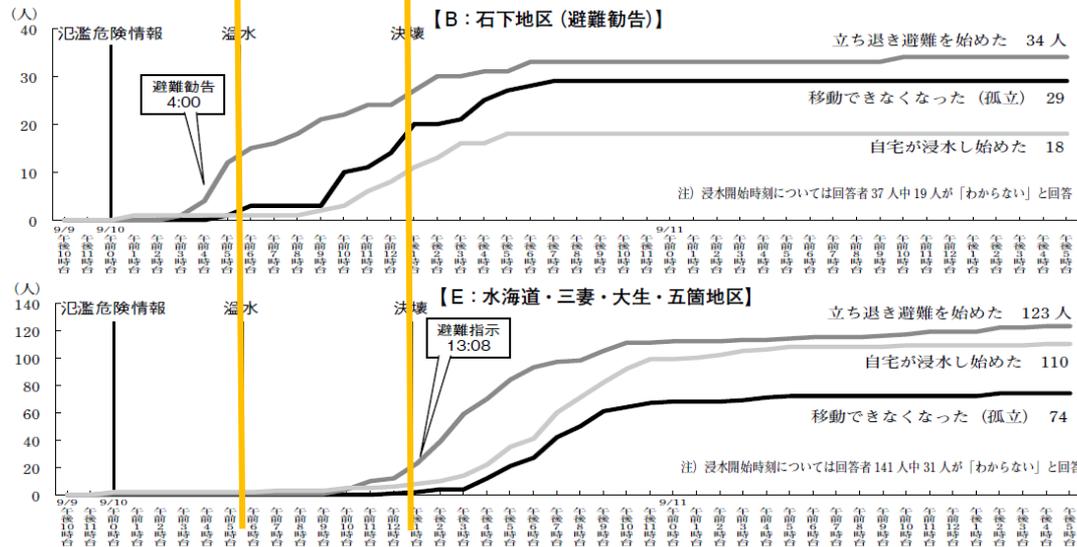
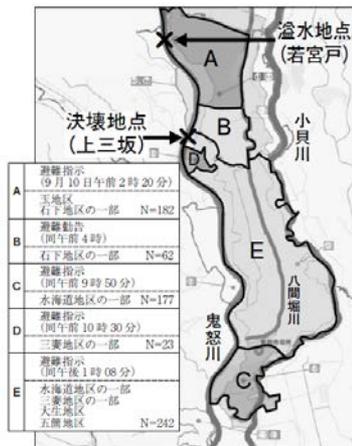
中央大学工学部河川・水文研究室による調査



地区B

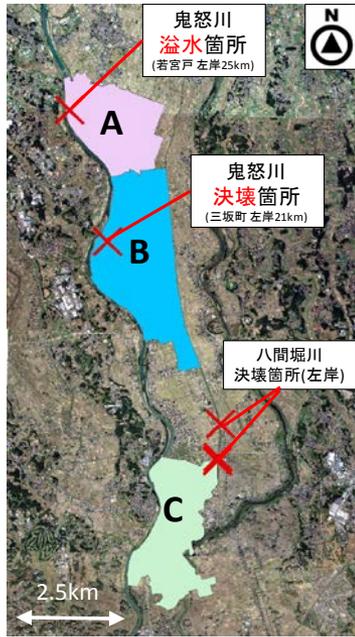


NHK放送文化研究所メディア研究部による調査

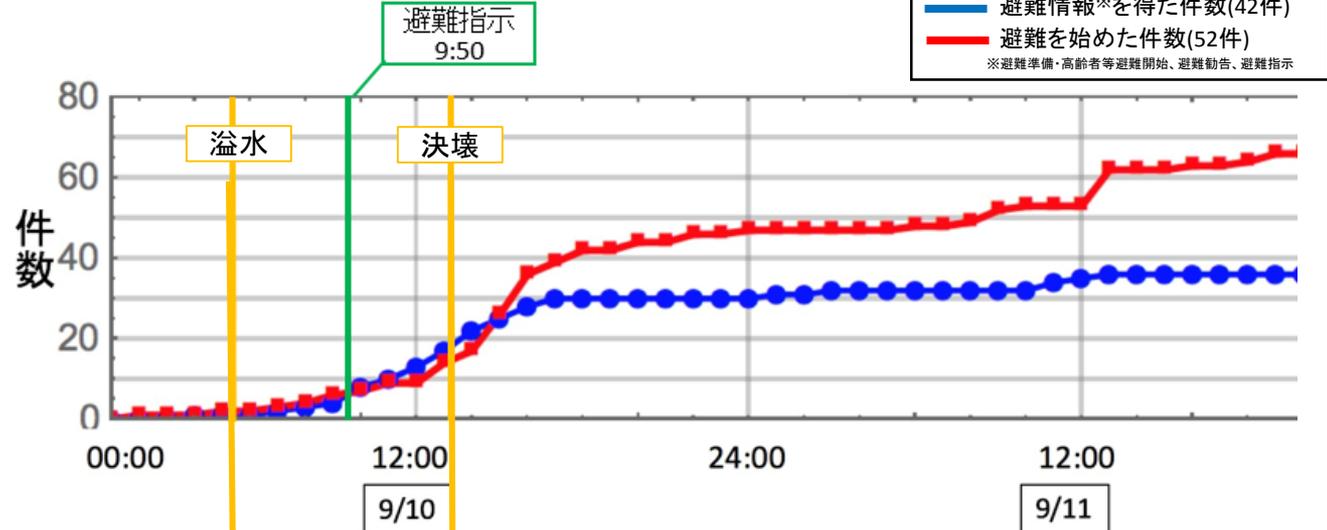


立退き避難を始めたタイミング③

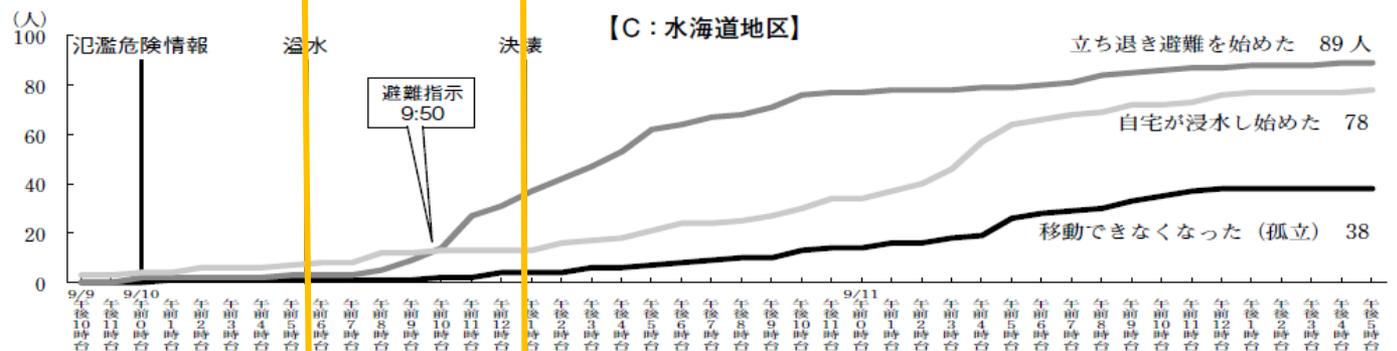
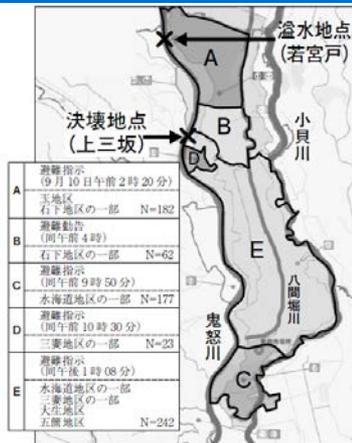
中央大学理工学部河川・水文研究室による調査



地区C



NHK放送文化研究所メディア研究部による調査

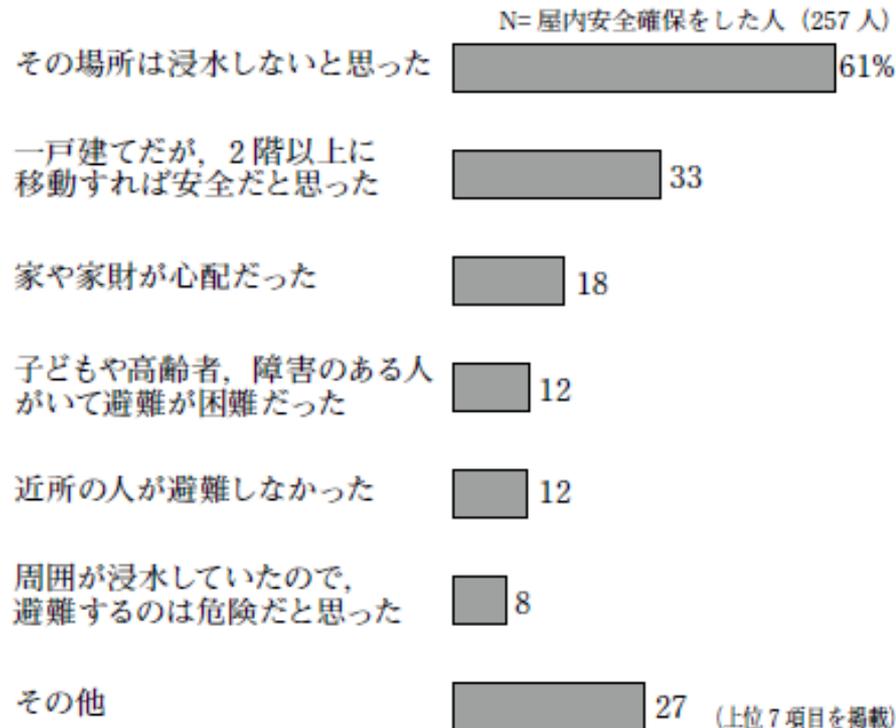


自宅に留まった理由・困ったこと

NHK放送文化研究所 メディア研究部による調査

自宅に留まった理由(複数回答)

□ 自宅に留まった理由として、その場所は浸水しないと思ったが約6割



自宅に留まって困ったこと(複数回答)

□ 自宅に留まって困ったこととして、電気が止まった、水道が止まったが約8割

